

議会だより

No. 102
2018.11.1 発行

地域コミュニティが深まった
町民レクリエーション



もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

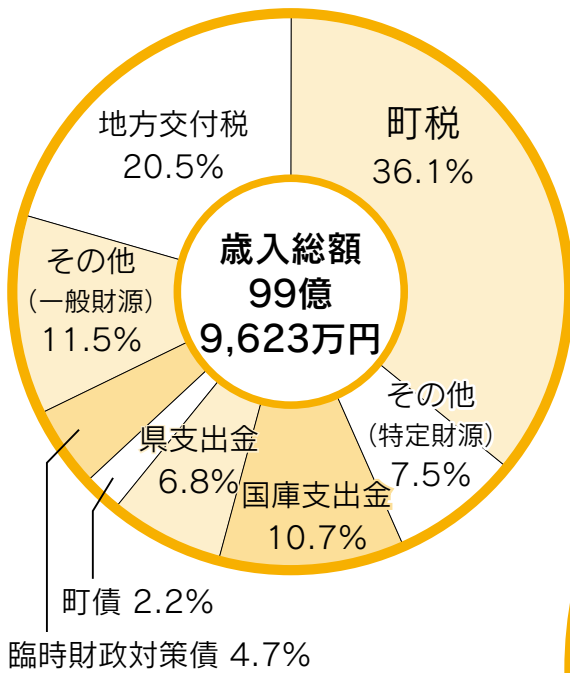
- ・29年度決算「96億円はどう使われた？」…… 2P
- ・予算をチェック …………… 4P
- ・9月議会ではこんなことが決まりました …… 5P
- ・一般質問 12人が登壇 …………… 7～13P
- ・「町政モニターの声」…………… 14P

9月議会

平成30年9月定例会は、9月3日から19日までの会期で開催されました。
 今議会に提案されました案件は、条例の一部改正4件、規約の変更1件、補正予算5件、決算認定6件、剰余金の処分1件、路線の廃止1件、路線の認定1件、人事2件、報告2件、諮問2件、発議2件、合計27件が上程され慎重なる審議を致しました。なお、一般質問は12名が登壇し、活発な質問が展開されました。

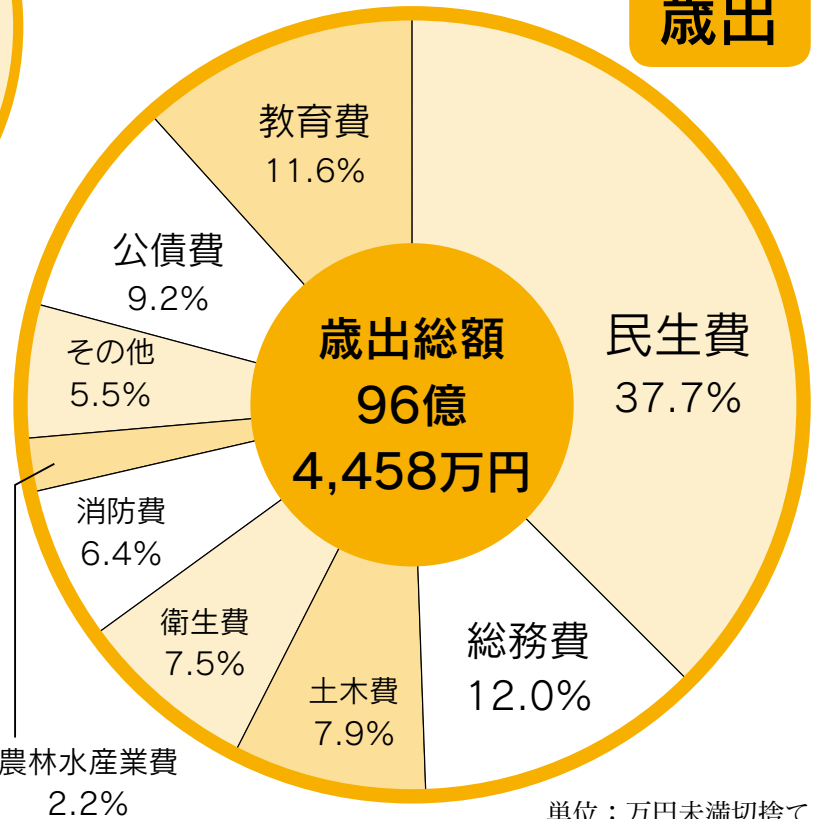
平成29年度 一般会計決算を認定！

歳入



96億円は どう使われた？

歳出



単位：万円未満切捨て

項目	金額
歳入	99億9,623万円
歳出	96億4,458万円
歳入歳出差引額	3億5,165万円

特別会計別の決算	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
国民健康保険特別会計	51億9,688万円	50億 578万円	1億9,109万円	
水道事業会計	収益的収支	7億8,379万円	7億2,006万円	6,373万円
	資本的収支	1億1,885万円	4億3,896万円	▲3億2,010万円
農業集落排水事業特別会計	2,908万円	2,705万円	202万円	
介護保険特別会計	22億1,936万円	21億3,831万円	8,105万円	
後期高齢者医療特別会計	3億8,579万円	3億7,888万円	690万円	

29年度予算は、このような事業に使われました



川角中学校体育館大規模改造工事

- 工事費：2億1,054万6千円
- 工事概要：施設の老朽に伴い大規模改造工事を実施。内外装・トイレ・照明などを更新した。



町道第1224号路線道路改良工事

- 工事場所：岡本団地入口
- 工事費：4,354万4,520円
- 工事概要：延長 L=261.0m
計画幅員 W=6.0m



農産物加工センター増築工事

- 工事費：3,587万7,600円
- 工事概要：町農産物の利用増進を図るため、地方創生拠点整備交付金を利用し、桂木ゆずなどの青果を集荷、搾汁、冷凍保存する施設を増築した。

議会が注目！ 財政を見るポイント

財政力指数

毛呂山町 0.634

地方公共団体の財政力を示す指数。基準財政収入額（標準的な地方税収）を基準財政需要額（行政事務の必要経費）で割った数値の過去3年間の平均値。数値が高いほど、自主財源の割合が高く財政状況に余裕があるとされる。

経常収支比率

毛呂山町 91.0%

公債費や人件費、扶助費といった「固定費」が、税など自治体が自由に使えるお金に占める割合。数値が高いほど財政が硬直化し、自由度が少なくなっている状態を示す。

実質公債費比率

毛呂山町 6.1%

自治体の実質的な借金が財政規模に占める割合のこと。数値が高いほど返済の負担が重いことを示す。地方自治体財政健全化法では、財政の健全度を診断する4指標の一つで、25%を超えると早期の健全化を求められる。

町税の 収納状況は？



29年度	収入済額	滞納額	徴収率
町民税	17億6,295万円	7,736万円	95.36%
法人分	1億3,211万円	187万円	98.60%
固定資産税	14億3,868万円	1億912万円	92.45%
軽自動車税	8,272万円	567万円	93.18%
たばこ税	2億 266万円	0円	100%
入湯税	42万円	0円	100%
都市計画税	1億1,813万円	906万円	92.37%

単位：万円未満切捨て

近隣市町と比較すると？

29年度	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率
坂戸市	0.834	89.6%	4.8%
越生町	0.539	88.1%	3.0%
鳩山町	0.610	93.9%	7.8%

予算決算 常任委員会

平成29年度一般会計及び特別会計決算については予算決算常任委員会に付託し、審議しました。

審議は町政全般多岐にわたり数多くの質疑がなされました。その中から抜粋してお知らせします。

問 石釜が入っている建物は利用中熱くならないのか。事故などは大丈夫か。

答 側面は熱くならない状況と把握しているが、改めて確認する。



オートキャンプ場の本格的な石釜

問 水道の石綿管の残延長は。

答 口径100mm以下は約15.5km。口径125から250mmまで約6km。300mm以上の太い管、基幹管路は約3.8km。

問 優先的に変更していくのは。

答 防災計画にのった避難場所等の重要給水施設への水道管を優先的に更新していく。



更新し、撤去した石綿管

予算の
使われ方を
チェック！

問 29年度搾汁機を17時間しか使っていないが。

答 12月、1月の柚子による使用のみ。今年は柚子の取り残しを減らして稼働時間を上げる予定。

問 柚子の他に搾汁できる作物はなにか。

答 今後、柚子以外の柑橘類などを研究していく。

問 29年度に行った工事はなにか。

答 搾汁機を使った後の清掃をするのに、水では落としづらいのでお湯が出るようにした。



今後使用頻度の高まりに期待
(農産物加工センター搾汁機)

問 公民館の交流センター化については。

答 社会教育施設である公民館をより使いやすい公共施設にするため検討を続ける。

問 土曜日に行われている地域学習支援事業、学びアップ教室の効果は。

答 参加した小学生の学力が上がっているとの報告がある。



外壁がきれいになった東公民館

問 学校教育環境等検討委員会で教育環境の検討が進められる中で体育館の大規模改造だが、これは教育委員会の考えなのか。

答 検討委員会の意見をいただきながら、第五次総合振興計画の実施計画に基づき実施した。



川中体育館大規模改造工事



改修前



改修後

9月議会ではこんなことが決まりました

補正予算

今回の一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億5,601万6千円を追加し、予算総額を98億1,166万6千円と決めました。

単位：万円未満切捨て

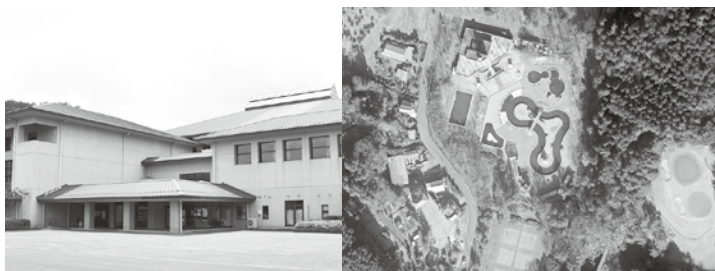
区分	補正前	補正額	補正後
一般会計	96億5,565万円	1億5,601万円	98億1,166万円
特別会計	国民健康保険	1億8,136万円	44億4,425万円
	農業集落排水事業	△25万円	3,539万円
	介護保険	8,111万円	22億8,896万円
	後期高齢者医療	△224万円	4億2,324万円

総合公園にて

官民連携の検討調査を実施！
1,099万4千円

民間参入を促進する総合公園官民連携事業手法検討調査業務とは、総合公園にて、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して総合公園の整備・維持管理等が可能かどうかを検討調査する業務です。

この調査を実施し、総合公園において、人が集まる魅力ある公園になるには何が必要であるかを明らかにし、今後の都市公園経営に役立てていきます。



今後の運営に期待が高まる総合公園

東武越生線川角駅

バリアフリー施設整備事業負担金
86万6千円

負担率は、自治体の負担率は1/3である。

学校給食センター調理・配送業務

2億4,012万9千円
(債務負担行為)

委託した場合の費用対効果は、人件費、調理業務に必要な消耗品、配送関係、業務等運営管理費で年間約300万円程度の効果が見込まれる。

毛呂山中学校プール

コンクリートブロック塀安全対策
195万4千円



生徒の安全が第一

ふるさと創造資金補助金

280万円

補助率は、補助率は1/2である。補助金をどんな事業に充当するのか。魅力ある地域づくりのため、観光ガイドマップや文化財の説明マップなどを作成する。

発議第1号

ゴルフ場利用税の
堅持を求める意見書



提出者
荒木かおる議員

ゴルフ場利用税は、都道府県税として納付され、その7割がゴルフ場所在市町村にゴルフ場利用税交付金として交付されている。

現在、地方自治体は、医療・介護など社会保障、社会資本の老朽化への対応、子育て支援、教育などにおいて果たす役割が年々増大しており、これらの課題解決には財源確保が必要不可欠であることはいうまでもない。

地域活性化および地方創生に全力で取り組もうとしている中、ゴルフ場利用税交付金を廃止することは、地方創生に逆行するものである。

ゴルフ場利用税がゴルフ場所在市町村にとって貴重な財源であることを改めて認識して頂き、現行制度が存続されるよう強く要望するものである。

賛成多数で可決

発議第2号

毛呂山町議会議員政治倫理条例の
遵守を求める決議について



提出者
長瀬 衛議員

毛呂山町議会議員政治倫理条例は、平成26年12月議会で議会の自立権に基づき議員発議で提案し、可決・成立したものであります。

政治倫理条例は全国の多くの自治体が制定しており、自らの行動によって市民への責任を果たしています。

しかるに弓田茂樹議員の2親等以内親族企業(弓田工務店)は今日まで条例規定にある辞退届提出をせず、町等との請負契約を継続しております。

よって議員関係企業に辞退届を提出させる努力を尽くすことを強く求めるものである。

また、これを機に我々全ての議員が町民から負託を受けた重大な責務を十分に認識すると共に、政治倫理条例を遵守し高い倫理性を実証し、町政の発展に寄与することを誓うものです。

賛成多数で可決

反対討論

発議第2号 毛呂山町議会議員政治倫理条例の遵守を求める決議

高橋 達夫議員



弓田議員は弓田工務店の代表者とは兄弟ではあるが、別人である。企業には営業権がある以上、部外者の意見が通るとは限らない。いくら努力をしても条例に沿う事が出来ない人に数の力で無理強いをするのは嫌がらせだ。議会として恥ずかしい発議に私は反対します。

毛呂山町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

岡野 勉議員



重い障害を持つ方を対象に医療費の一部を補助する制度。今回、県がこの制度に所得制限を設け、連動し毛呂山町でも所得制限を課すもの。重度障害者の方々のご苦労が多い。県が所得制限を導入しても町が制度を続けるという選択肢もあり、制度の維持を望む。

一般会計歳入歳出決算認定

牧瀬 明議員



町民税・住民税の所得割は、2007年から一律10%になり、低所得者は苦しんでいます。税率を複数にして応能割に原則戻すべきです。均等割は人頭税であり無くすべきです。

● 町の農作物鳥獣被害状況と対策
● 新地方公会計制度
高橋 達夫

● 井上町政2期8年間における主な重点施策の
具体的効果(成果)
長瀬 衛

● 行政が描く町の将来像とは
● 毛呂バス運行
下田 泰章

● 災害における防災対策
● 山根荘の現状
荒木かおる

● 通学路の安全対策
● 毛呂山町の防災
● 観光対策
● 道徳教育
● 農業対策
平野 隆

● 川角駅周辺整備及び西大久保交差点(上)整備
岡野 勉

● 町・立地適正化計画
堀江 快治
● 自治体の新公会計制度
● 臨時財政対策債の現状と町財政政策の将来的見地

● 成年後見制度
● 発達障害者に対する取り組み
千葉三津子

● 地震や大豪雨等の災害から町民を守れるか
● 道路整備
村田忠次郎

● 教育・子育て環境の充実
● 歳入確保
● 観光振興施策の充実
小峰 明雄

● 手話言語条例
● ブロック塀の安全性
澤田 巖

● 国民健康保険
牧瀬 明

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

● 議案の審議結果 (9月定例会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 除は除斥 退は退出 議は議長

議 案		議 員 名												審 議 結 果			
		下田 泰章	平野 隆	澤田 巖	牧瀬 明	弓田 茂樹	荒木 かおる	千葉 三津子	村田 忠次郎	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	佐藤 秀樹		
決算認定	一般会計	○	○	○	討 ×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承 認	
	介護・後期高齢者特別会計	○	○	○	討 ×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承 認	
	国保特別会計	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承 認	
	水道事業、集落排水特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承 認	
水道事業会計未処分利益剰余金		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
一般会計、国保・集落排水・介護・後期高齢者特会補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
町道の廃止・認定、水道給水条例、都市計画条例の改正、 下水道組合規約の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
税条例の改正		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
重度心身障害者医療費支給条例の改正		○	○	○	×	○	○	○	○	討 ×	○	○	○	○	議	原案可決	
ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書の提出		○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	議	原案可決	
毛呂山町議会議員政治倫理条例の遵守を求める決議		○	×	×	○	除	○	○	×	○	退	討 ×	○	○	議	原案可決	

町の農作物有害鳥獣被害状況と対策は

【図】平成28年度はイノシシ63頭を捕獲した



高橋 達夫

問 過去3年間の有害鳥獣による農作物被害状況とそれに対する町の対策と効果は。

答 被害の主なものはいノシシによる中山間地域の林道や法面

及び田畑の掘り起こし、ニホンジカによる果樹の枝折り、アライグマ等の農作物の食害等があった。捕獲頭数は平成27年度はいノシシ5頭、ニホンジカ2頭、アライグマ76頭。平成28年度はいノシシ63頭、ニホンジカ7頭、アライグマ175頭。平成29年度はいノシシ44頭、ニホンジカ15頭、アライグマ47頭である。

問 イノシシの捕獲頭数が平成

27年度は5頭であったものが平成28年度は63頭と急に多くなっているが理由は。

答 毛呂山町鳥獣被害実施隊を結成し、一年を通し猟が可能になり、苦情相談があれば即対応できる事等である。

問 補助金が29年度は大幅に増えたが捕獲頭数割で出したのか。

答 28年度に捕獲頭数が急増したが、補助金がなかったため、29年度に費用弁償等で出したもので頭数割で出したものではない。

【新】地方公会計制度について

問 町が来年度から採用する新地方公会計制度とはどのような

会計制度か。

答 今までの町の会計は現金収支に主軸をおいた現金主義会計であったが、今後は一般企業と同様の発生主義による複式簿記を取り入れた会計制度になる。

問 新公会計制度にする理由は、人口が減り税収も増えない、国の借金も1100兆円を超えている。行政運営に幾らコストがかかっていたかを町民に説明する時代になった為と私は考えるが。

答 行政運営を分かりやすく理解するため導入した。

町長への信頼感、大いに疑問

【図】住んで良かったと思われる町づくりを目指す



長瀬 衛

まな統計指数に表れている。また、倫理条例への対応等町長の言動が町民間に混乱を招き、信頼感も大いに疑問だ。この8年間の重要施策の成果は。

答 住民サービス向上を念頭に置いてきた。住んで良かったと思われる町づくりを目指す。

問 目指すは、施策を通じて人口を戦略的に改善することだが、就任後の人口動静をどのように

見ているか。

答 想像以上に減少が激しい。町の衰えにも関係するのではありません。特異性がある。

問 この1年間で保全組合構成1市3町の人口減少の74%は本町が占め、断然高い。どこも横並び現象ではなく、歴代でも小沢町政の3倍の減少率だ。7年間の人口動向は深刻ではないか。

答 現町政が引き起こしたわけではない。特異性がある。

問 4年前も自画自賛が多いと指摘した。自己評価も良いが、結果がついてこなければ、今後も転出が続く。ことごとく県内下位

の指標をどう受け止めるか。

答 下位も相当あるので上にいけるよう努力する。

問 住民と協働で行なう安全確保は町の魅力に繋がる。自主防災に何を求めるのか。

答 さまざまなことを克服しながら進める。

問 リプラ対策協の混乱を危惧する。執行側の町長が地元集会で補償費分配に言及したことに反発がある。

答 一住民として助言した。副管理者、町長の立場を考慮し対立を生まないよう解決に努力すべきだ。



自画自賛ではなく、結果がほしい毛呂山町



くくり罠で捕獲したイノシシ

雇用の確保！町の特性とは？

【問】医療・福祉関係等の環境が整っている



下田 泰章

【問】 企業誘致戦略において町では、物流系や商業系企業に重点を置いていますが、県では人口知

能AIやIoTなどの先端産業に重点を置き現在、鶴ヶ島市農業

【答】 大学跡地に未来産業の拠点整備事業が実施されている。医療や福祉業界でもヘルスケアといった先端産業が注目されている。当町は、この未来産業促進地域に立地指定されている。町の特性を活かした企業誘致は、町民の雇用確保にも繋がる。未来産業に対する町の将来構想とは。

【問】 町の強みを活用すべく、AIなどの先端産業に対し、今後

どのように取り組んでいくか検討する。

【問】 香川県三木町。人口約2万7千人。町内に大学や医学部、付属病院を有し、通勤・通学などで町にやってくる町外人口は約2000人。三木町では、この町外人口に着目し、自治体に住民票が無い人でも、住民と同様の特別なサービスが受けられる「ふるさと住民票」という施策を実施し、外からの貴重な意見も町の施策に取り入れ、町づくりに活かしている。居住人口は増えなくても「関係人口」地域に関わる人を増やし、その知

恵や気持ちを活かし町を活性化させることも可能である。当町の関係人口に対する考えは。

【問】 「医療と福祉の町」を掲げる当町。利用者目線に立ち、もろハピネス館前に停留所を設置するべきでは。

【答】 いい考えを参考に取入れて参りたい。

【問】 国の補填で事業が実施されているが、継続可能か。

【答】 国の動向に注視し、費用対効果の検証も行う。

町民の命を守る防災備蓄を！

【問】国・県と連携し、調査・研究をする



荒木かおる

【問】 避難所の暑さ、寒さ対策としてどのような備蓄があるか。

【答】 各小中学校に毛布120枚、防災備蓄倉庫に460枚、アルミマット150枚。必要に応じ

て各避難所に配布する。

【問】 乳幼児に対する備蓄は。

【答】 各サイズの子ども用オムツを6619枚、新生児と月齢9か月以上の乳幼児用の粉ミルク、哺乳瓶を防災備蓄倉庫に備蓄している。

【問】 暑さ対策にスポットクーラー

1、寒さ対策に段ボールベッドの備蓄はいかがか。

【答】 西日本豪雨の際には避難所

の体育館にスポットクーラーが設置され環境整備に貢献した。協定、及び国、県等の連携、依頼など調査・研究をして参りたい。

【問】 本年8月、災害時に便利な乳幼児用液体ミルクの流通が解禁となったが液体ミルクの備蓄は如何か。

【答】 水や加熱処理が困難な災害時においては液体ミルクの備えは有用なもの。現時点では流通の解禁から間もないことから国内の市販製品がないため今後、調査・研究をして参ります

【問】 土砂災害警戒区域になっている山根荘だが、少子高齢化が

進む中、山根荘を含む公共施設の在り方については如何か。

【答】 人口減少と維持修繕の財政負担を考えた場合、現状の公共施設を現在のまま維持していくことは困難。公共施設等総合管理計画の更なる推進に向けて、個別施設計画の策定とあわせ、施設の統廃合など施設の再配置の基本方針も定めて参ります。



災害時の備えとして期待される乳幼児用液体ミルク



特性を活かした知恵を絞り、町に活気と雇用の創出を！

通学路の安全対策は

図 スクールゾーンなどを設置している



平野 隆

問 グリーンベルトの効果は。

答 自動車の平均速度が時速2・6km減少し、歩行者との離隔距離が20cm拡大したとの調査結果が報告されている。

問 交通指導員の配置状況は。

答 20箇所につき20人の交通指導員を配置し、子どもたちの交通整理及び交通安全指導をしている。

問 現在の防災計画のご所見は。

答 毛呂山町の防災について

答 災害対策基本法第42条の規定により県の防災計画を基準として、町の地域性を考慮し独自の地域防災計画を策定した。

観光対策

問 圏央鶴ヶ島インターに毛呂山の案内表示が無いが。

答 高速道路の標識については国交省所管の道路標識適正化委員会の協議を経て決定している。

問 毛呂山の名前が標識に必要と思うが如何か。

答 標識掲載に選定されるよう、町の知名度向上に努めていく。

問 道徳教育

答 小学校では今年から、中学

校では来年度から道徳が教科になるがご所見を伺う。

答 道徳教育を通じて「正直、誠実、公正、正義」を明示し、いじめ問題への対応や現代的課題の扱いも充実させていきたい。

問 採点方法は。

答 数値による評価ではなく、学習状況や成長の様子を評価する個人評価とする。

農業対策

問 収入保険制度とは。

答 平成31年1月からスタートし、農業経営者の収入減を補填する制度。

住民に説明会、声を聞くべきだ！

図 学校、西入間警察と協議をしている



岡野 勉

の契約を8月に締結いたしました。南口概略設計につきましても、発注準備を進めております。

問 川角駅基本設計業務委託の発注「仕様書」はどう言ったものか、橋上駅を前提としたものか。また、委託金額をお聞きする。

答 東武鉄道からは「橋上駅舎自由通路」との案を頂いたが事業費が高額になるなど、充分に調査、比較検討を大学・学校間

では、川角駅基本設計業務委託

係者とも再度協議をしたい。基本設計委託料は1100万円。

問 南口概略設計の「仕様書」はどういった前提か。ロータリー、タクシープールはどうなる。また、現道へはどうアクセスするか。延命寺脇に抜けるのか。

答 計画ではロータリー、タクシープールを作ります。現道へのアクセスは案としては延命寺脇に抜けるものです。

住民説明会、なぜ開催しない！

問 自分の生活する庭なのに西大久保交差点(上)新設改良工事。どの段階か。確かなことは全く・何もわからない。

なぜ説明をしないのか！お手上げ状態。自治会長も「住民から説明を求められなくても説明できない」状態。

住民参加が風前の灯しび！住民不在！改善を願う。

答 安全な交差点を作るのが目的で全町の問題。また信号機設置を見据え、埼玉県、西入間警察、町の3者で協議。安全で実現可能な計画案を持って説明します。

意見 工事概要、目的、完成までのスケジュールなど。現段階で一度、町は説明し住民の声を聞くべきだ。



住民参加で安全安心な道路行政を！！



スクールゾーン

人口減少・縮退時代町の対応は

圏立地適性化計画の推進で魅力ある町へ



堀江 快治

減少・空洞化及び厳しい財政収支への対応の為、コンパクト・プラス・ネットワークの旗印で、縮退時代に備える町づくりを進める為の施策である。

町における現況と課題

問 昨年2月に公表された、町の立地適性化計画とは。

答 事業の推進には、最低限の基盤整備が条件と思うが。

問 全国的にも先駆け、町の将来的発展に、持続可能な構想である。中心市街地における人口

答 普遍的な基準は、高い利便性であるが、都市計画道路の未着手区間、生活道路の脆弱箇所

の多いこと等、万全ではない。

問 武州長瀬駅交通結節点事業は、初期の目的に大きく及ばず、特に北口利用者は少なく、活況を呈しない。駅周辺の新規活性化開発は、至上命題だ。

答 周辺団地を視野に、エリアの価値向上の施策を検討。

問 不要となった不動産についての対策は。

答 国の動向に注視し、行政による地権者と利用希望者とを、コーディネートすることが、可能になるのではないかと。

問 時々の振興計画の達成比率に、視点を置くべきだ。

答 結果創出に努力する。

問 自治体の新公会計制度

答 国から何を求められているのか。

問 すべての地方公共団体において、統一的基準による財務諸表等を作成し、責任ある経営をわかり易く開示。より財政健全化を計ることが使命である。

問 臨時財政対策債の現状

答 地方交付税の補填的役割を担っているが、地方債の累積原因となっている。

問 将来世代の負担増を意識し、債務抑制に努力。

答 報や啓発活動に努めて参る。

問 発達障害者とその家族が抱える新たな「ひきこもり」の問題がある。近年では高齢化が懸念されているが乳幼児から高齢期までの切れ目のない支援が重要との事だが、具体的にはどのような支援が重要と思うか。

答 地域社会から孤立しな様な支援体制を構築する。

問 早期発見する為には現在行われていない5歳児健診が有効であると思うが。

答 必要に応じて医療機関に繋げ、調査研究して参る。

利用が進まない成年後見制度！今後の取組みは

圏制度の周知及び支援体制の整備をこころ



千葉三津子

度の実施に向けて準備を進めているとの事だが、どのように進めていくのか。

問 市民後見人養成のため研修の実施方法や市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築、適正な活動の支援等を制度の実施に必要な内容について関係機関と協議して参る。

問 発達障害に対する取り組み

答 平成17年4月より発達障害

問 単身高齢世帯の増加が見込まれる中、当町の今後の動向は。

答 増加していくものと予測される。

問 市民後見人育成事業を32年

答 平成17年4月より発達障害



成年後見制度

地域社会から孤立させないような支援体制を



日中利用者の少ない武州長瀬駅自由通路

地震や大豪雨等の災害から町民を守れるか

水防団や消防組合と連携して対応する



村田忠次郎

問 葛川排水路堤防には大雨のたびに排水ポンプ積載のトラックが出勤する。町の考えを伺う。

答 県の事業で平成28年に樋管工事を行った。台風などの際にはトラックに積載の排水ポンプを作業させて浸水の危険を軽減している。当該箇所は浸水想定区域であり、過去に水害が多く発生しているので巡視を強化している。追加対策について県に要望を継続する。

問 岡本団地の救援対策を伺う。

答 町は29年度に排水用エンジンポンプを2台購入し、水害にも備えている。排水作業での対応にも限界があるので、必要に応じて避難行動が取れるように対応します。

問 水路の護岸の土嚢は風化の為、役をなさない。ブロックか石垣積み出来ないか。

答 工法の検討等を含め、早期着手に向けて努力する。

道路整備について

問 生活道路・路面の安全調査は毎年実施しているか。

答 道路パトロールを日常的に行い、道路の異常や破損箇所を見つけ次第、応急処置を行っている。

問 段差など危険箇所の細部チェックを行政区等に依頼したらどうか。

答 職員によるパトロールだけでは異常発見が行き届かない場合もある。破損箇所の早期発見と措置の為、大勢の目で観察して戴き迅速に対応できるような仕組みづくりを研究したい。

行財政改革プランの自主財源の確保は

徴収率の向上・広告収入に新たな取り組みが必要



小峰 明雄

種団体などと連携し、9年間を一貫した、医療や福祉と融合した特色ある教育を目指します。

問 毛呂山町子供読書活動推進計画、新計画の策定等ご見解は。

答 より実効性のある計画を、策定してまいりたいと考える。

問 未来を拓く人づくりプロジェクト、教育長のご見解は。

答 エクト、地域の特徴をいかした、小中一貫校を目指します。近隣の大学・医療機関・福祉施設・各

がると考える。小・中学校の歯・口の健康づくりへの取組は。

答 給食後の毎日歯みがき。歯科衛生士の歯科指導や朝会を利用している歯みがき指導を実施。

問 う歯の治療を適切に進めるには、地域の歯科医療機関などと連携した組織活動は重要。

答 学校歯科医や歯科医師会からのご指摘、ご指導を踏まえた取組を研究することで、むし歯を減らすことに努めていきたい。

問 子供たちは地域の宝。保育所職員は、児童の命を預かる心労は相当なものである。保護者の保育業務への理解を深める事

は重要と考える。保育参加事業の普及への取組は。

答 3歳児以上の保護者が一日保育士体験を行う。

問 コンビニなどに出向かなくても、即時に納付が完了する、手軽さが特徴のペイビー、本町でも導入を。

答 議員よりご案内のスマートフォンアプリ、平成31年度から導入できるよう準備を進めてまいりたい。

問 総合公園に季節の彩を感じていただける整備に、毛呂山町緑の基金の活用は。



町内循環バスの車体を活用した有料広告を検討



出勤している排水ポンプ積載のトラック

毛呂山町に手話言語条例を！

早期の具体化、実施を検討する



澤田 巖

問 町が実施している手話講習会の過去5年間の受講人数は。
答 25年から29年で44人、今年20名が受講している。

問 手話は法的には言語として

答 認められておらず、そのために聴覚障害者は社会のいろいろな面で不利益をこうむってきた。この差別を打開しようと埼玉県内では20を超える市町で手話言語条例が制定されており、障害者の社会参加を促進し共生社会の実現を目指している。毛呂山町にも手話言語条例は必要だと考えるがいかがか。
答 障害者基本法の、『障害の

有無にかかわらず、かけがいのない個人として尊重される』という理念にのっとり障害のある人もない人も共生する社会の実現を目指していくために手話言語条例の具体化、実施などにも検討していく。

ブロック塀の安全性について

問 今年の6月大阪北部地震が発生し小学4年生の女児がブロック塀の下敷きになり亡くなった。本町の小中学校の施設にあるブロック塀の現状と対策は。
答 大阪北部地震直後から全ての小中学校において点検を実施、基準に合わない箇所には安全対

策を実施した。
問 ブロック塀の安全ポイントの周知が必要だと考えるが。
答 広報紙・ホームページにブロック塀の安全点検ポイントなどを記載した。

問 危険なブロック塀への対策に助成する制度は。
答 本町では現在のところない。しかし、大阪北部地震を受けて、県内のいくつかの市において助成制度を始める発表があり、県内市町の今後の動向を見極めていきたい。

平成31年度の国保財政の見通しは

圏県が秋に示めす仮の標準保険税率を見てから検討



牧瀬 明

問 3月1日の全員協議会で国民健康保険の広域化についての説明を受けましたが、納付金額と税収の比較で後期高齢者と介護分が不足となっていました。

納付金は県から提示されていますが、広域化により不足額が生じたのですか。
答 広域化によるものではないです。支援金分と介護分を単独事業としてそれぞれ歳入歳出を計算すると以前から不足しております。

問 以前から不足しているというのですがその額は。
答 後期高齢者支援金分の不足

額は、平成28年度は7961万円、平成29年度は8086万円。介護分の不足額は、平成28年度は3086万円、平成29年度は3068万円です。
問 今まで、この不足額は何を充てて対応してきたのですか。
答 特別調整交付金、共同事業などにおいて生じた繰越金などです。

問 平成30年度の基金の残額の予定は。
答 昨年度の基金1億4172万円のうち、9601万円をすでに取りくずしており本年度の納付金などの不足分に充ててい

ます。その残額4571万円と、昨年度の収支残額1億9109万円のうち1億3428万円、合計1億8000万円を基金に積み立てる予定です。
問 その1億8000万円の平成31年度の使い道は。
答 平成31年度の仮の標準保険税率が秋に、県より示されますので、その内容などを見てから、平成31年度についても検討をしていく必要があります。(文中の数字は千円未満は切り捨てています。)



手話は聴覚障害者の『言語』である

区分	医療分	支援金	介護分	計
納付金額	68,122	24,789	8,279	101,192
必要税収	47,693	20,820	6,596	75,109
徴収見込額 91.5%	49,353	12,451	4,675	66,480
不足額	1,659	△ 8,368	△ 1,920	△ 8,629

※数字の単位は万円で合計額は一致しません

2018年度(平成30年度)の納付金額と税収との比較(予想不足額)

人事

固定資産評価審査委員会

委員

渡邊 満 氏

昭和18年6月生

川越市新宿

教育委員会委員

丸木 清之 氏

昭和46年6月生

毛呂山町毛呂本郷

人権擁護委員

波田 眞澄 氏

昭和27年10月生

毛呂山町葛貫

初野 誠治 氏

昭和19年6月生

毛呂山町滝ノ入



議会の動き

常任委員会行政視察

10月11日～12日

(1) 静岡県御殿場市

「タブレット端末の導入について」

(2) 静岡県三島市

「スマートウエルネスみしまの取り組みについて」

(3) 静岡県焼津市

「ドローンを活用した災

害対策について」

平成30年度埼玉県町村議長
会議員研修会

平成30年10月17日

フレサよしみ

議会改革をめぐる最近の
動向と課題

平成30年入間郡町村議会議
員研修会

平成30年10月22日

議会改革について

『住民の議会』をつくる

町政モニターの声

スポーツ環境整備場所の有効活用

服部 武男さん



私は、毛呂山町に住んで36年になります。数年前までのサラリーマン時代には、時々スポーツ施設（総合体育館2階）を利用させてもらって、たくさんの汗をかきました。この時リフレッシュ効果が出てストレス解消にも役立って感謝していました。ところで最近になって知った事ですが…ウォーキングしやすい環境の為に、道路に歩いた距離表示が路面に表記されているのをご存知でしょうか？

次の2か所を紹介させていただきます。

- ①県道飯能寄居線バイパスウォーキング道路で、毛呂山町役場から国際医療センターまでの歩道
 - ②毛呂山総合体育館の廻りに有る雑木林道路
- どちらの場所も歩くのに良い環境です。ウォーキング中に通常の歩く速さより、少し早く一定距離を歩くと血液内に血栓が出来にくい体になるようです。

このような毛呂山町の自然環境の中で、小鳥がさえずり、災害が無い町での生活で、ウォーキングを通して楽しんで行きたいと思っています。

9月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
9月 3日(月)	1名
9月 4日(火)	28名
9月 5日(水)	15名
9月 6日(木)	4名
9月 7日(金)	0名
9月19日(水)	8名
計	56名

傍聴席

あとかぎ

『暑さ寒さも彼岸まで』夏の猛暑が嘘のよう。今では長袖のシャツに、アイスコーヒーからホットコーヒーへと季節の移行を実感しています。

これから町の行事も『町レク』から「当議会だより」が発行される11月には『流鏝馬』が本祭を迎えます。町民皆さまは「読書の秋」「食欲の秋」それとも「スポーツの秋」ですか。こんな質問も古風かな？

世界の平和が土台！どうぞ、素晴らしい秋をご満喫ください。

(岡野 勉)

編集委員

委員長 下田 泰章
副委員長 荒木かおる
委員 平野 隆
澤田 巖
千葉三津子
岡野 勉

アドバイザー

(議長) 佐藤 秀樹